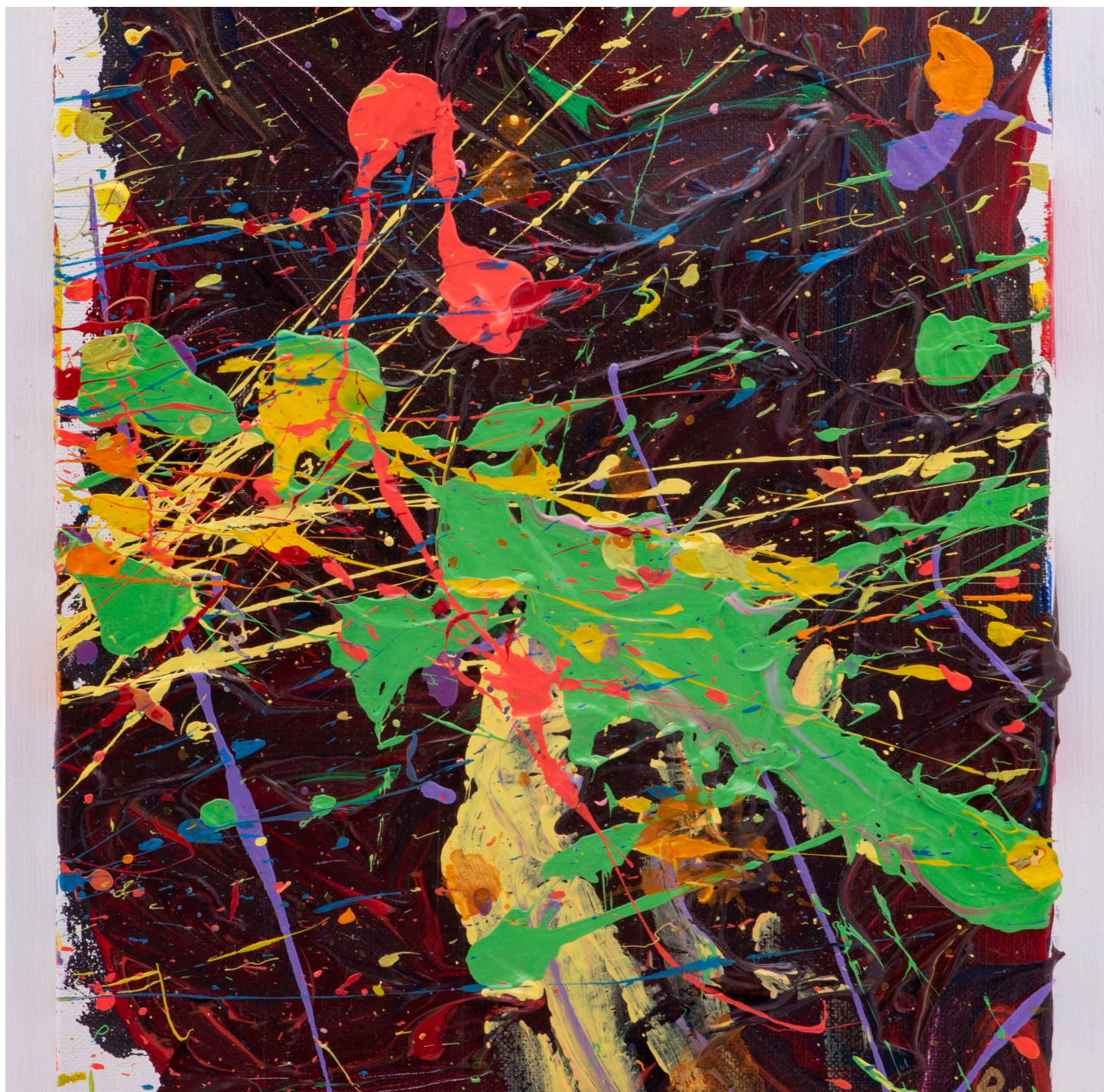


GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To all Rotary members in RID2840



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To all Rotary members in RID2840

CONTENTS

ガバナーメッセージ

「基本的教育と識字率向上月間」「ロータリーの友月間」	02
----------------------------------	----

メッセージ

2025 年規定審議会レポート 3	
RI 本部の財務の透明性を求める！	05

各種報告

第 4 回 ガバナー補佐会議	12
ロータリー財団 グローバル補助金	
前橋西ロータリークラブ 平林まりさん 奨学金授与式	13
RLI ファシリテーター研修会	14
第 2 回 青少年交換委員会	16
地区内クラブ奉仕事業のご紹介（桐生西 RC）	18

お知らせ

地区ガバナー候補者（ガバナーノミニー・デジグネート）	
推薦についてお願い	19
「地区大会」のご案内	20
地区大会記念ゴルフ大会開催のご案内	20
ガバナー公式訪問要領・ガバナー公式訪問日程表	21
地区主要行事予定表	25
周年行事・IM 開催予定	27
コーディネーター NEWS	28
出席報告・My Rotary 登録率	31
新会員紹介	33
新会員入会実績報告（7 月末日現在）	35
三好建正ガバナーエレクト事務所 開設のご挨拶	36
ガバナーより一言	37
ガバナー月信の表紙について	38
文庫通信「文庫通信 393 号：ポリオ」	40
ガバナー事務所よりお願い	41

ガバナーメッセージ

「基本的教育と識字率向上月間」 「ロータリーの友月間」

9月に入っても酷暑が続いておりますが、会員の皆様におかれましてはクラブ会長を中心に、活発に奉仕活動、親睦活動に取り組まれていらっしゃると思います。

9月は、国際ロータリーが指定した「基本的教育と識字率向上月間」と日本独自の「ロータリーの友月間」の特別月間です。

「基本的教育と識字率向上」

世界を見ると、貧困や紛争により教師いない地域、就労のため児童が教育を受けられない環境にある地域があります。また、途上国においては、女子に対して教育は不要であるとの傾向があります。

そうした地域で基本的教育を提供し、識字率を上げれば、その他の諸問題の解決（貧困の削減、健康状態の改善、地域社会と経済の発展、平和構築など）の糸口をつかむことができます。「基本的教育と識字率向上」は、ロータリーの重点分野の一つとなっています。ロータリー以外でも、ユネスコが毎年9月8日を“国際識字デー”と1965年11月17日に宣言しました。

以下は、国連のSDG s 報告2024のターゲット4「質の高い教育をみんなに」の項目を抜粋です。

2015年から2023年の間に、小学校の修了率は85%から88%に、中学校の修了率は74%から78%に、後期中等教育の修了率は53%から59%に増加しました。しかし、サハラ以南のアフリカでは、小学校を期限内に修了している子どもの3人に2人しかいません。

高等中等教育の進捗は、年間1.3%ポイント(2010-2015年)から年間0.9%ポイント(2015-2023年)に鈍化し、オセアニアはマイナス成長を経験しています。しかし、一部の地域では顕著な進歩が見られました。東アジアと東南アジアは最も急速に成長している地域であり、完了率は2015年の63%から2023年には74%に上昇しました。

世界的には、初等教育と中等教育の両方で、女子の修了率が男子の修了率を2～3パーセントポイント上回っています。高等教育レベルでは、東アジアと東南アジアで14ポイント、ラテンアメリカとカリブ海地域で8ポイント、その他のほとんどの地域で4～5ポイントの差があり、女子が顕著な優位性を保っています。中央アジアと南アジア、サハラ以南のアフリカでは、男子が2～3パーセントポイントのわずかなリードを維持しています。こうした地域格差は、すべての子どもたちに平等な教育機会を達成するための目的を絞った取り組みの必要性を強調しています。

世界的に、教育・識字の分野では進展が見られていますが、地域間における格差もあり、取り組み続けられない重要分野です。

では、日本において基本的教育に課題はないのでしょうか。

日本では、歴史を見ても伝統的に児童に対する教育が行われてきました。義務教育により国民に遍く教育を受ける機会が与えられています。

しかし、昨今「教育格差」という言葉をよく耳にするようになりました。家庭の経済状況による教育環境の違いにより、学力や進学状況、ひいては、子供たちの将来にも影響を及ぼします。

格差を少しでも埋めるべく、皆様は地域で、“奨学金“を給付し、家庭の負担を軽減するために“子ども食堂”や“フードバンク”など、様々な奉仕活動をなさっています。

これからも、地域社会のニーズを調べ、地域社会のニーズに応える活動を継続して参りましょう。そして、地元の行政、他のボランティア団体などを巻き込むことにより、地域にインパクト（ロータリーの活動によってもたらされる長期的で好ましい変化）を与えようではありませんか。

基本的教育と識字率向上月間のリソース

◇教育の支援

(<https://www.rotary.org/ja/our-causes/supporting-education>)

◇奉仕プロジェクトセンター

(https://map.rotary.org/ja/project/pages/project_showcase.aspx)

◇ロータリー行動グループ

(<https://my.rotary.org/ja/participate/programs/join-a-rotary-action-group>)

◇パートナー

(<https://my.rotary.org/ja/learning-reference/about-rotary/partners>)

<ラーニングセンターコース一覧>

(<https://my-cms.rotary.org/ja/document/learning-center-course-catalog>)

本月間に関連するコースもございますので、詳細はラーニングセンターコース一覧をご確認ください。

「基本的教育と識字率向上」の分野でのグローバル補助金プロジェクトをお考えの方へ

◆ My ROTARY

「グローバル補助金 (<https://my.rotary.org/ja/knowledge-and-resources/resources-and-reference/global-grants>)」

◆重点分野の基本方針 (<https://my.rotary.org/ja/document/areas-focus-policy-statements>)

◆「基本的教育と識字率向上」グローバル補助金 授与のガイドライン

(<https://my-cms.rotary.org/ja/document/basic-education-and-literacy-guidelines-global-grant-funding>)

ロータリーボイスにも事例が多数あります (<https://rotaryblogja.org/>)

また、9月は、「ロータリーの友月間」でもあります。

この月間は、2015-16年度のロータリーの特別月間の変更で「雑誌月間」がなくなったため、日本独自の月間として設けられました。ロータリー会員の義務には、雑誌を購読することとあります。

ロータリーには、月に一度、発行される公式雑誌があります。RIの『The Rotarian』は、世界共通の公式雑誌で、掲載されている内容が全て英語で記載されています。このため、各地域毎にザ・ロータリアンを取り入れた公式雑誌が発行されています。日本では『ロータリーの友』が公式雑誌になります。

『ロータリーの友』の内容を2つに分けますと①国際ロータリーの活動②国内ロータリーの活動になります。友を読むことにより、日本全国のクラブの活動を、世界各地のクラブの活動を知ることができます。逆を言えば、友誌がないと自分の所属クラブ以外がどんな活動をしているのか知る事ができません。この雑誌を通じてロータリアンが共通して知っておかなければならない情報を入手し、ロータリーを知り、活動に活かしていただくことを推奨いたします。

購読いただくことはもちろんですが、皆様へは、友誌への投稿もお願いします。また、お読みになった友誌を有効に活用いただき、地域の皆様へロータリーの情報を発信することもお願いいたします。

なお、不定期ですが、田中久夫第1地域 RMC（当地区 PG）が、「ロータリーあるある相談室」のコーナーを執筆されています。

◇ロータリーの友ホームページ（<https://www.rotary-no-tomo.jp/index.php>）

◇ロータリーの友電子版（<https://www.tomo-archive.net/>）

RI本部の財務の透明性を求める！

連載 2025年規定審議会レポート3

審議会地区代表議員・審議会立法案検討委員会委員長
パストガバナー 本田 博己（前橋ロータリークラブ）

財務の透明性を求める声が高まる！

先月号（2025 年規定審議会レポート2）は、RI 理事会の人頭分担金増額提案を巡る RI 理事会と地区代表議員との「攻防」の詳細を報告しました。その審議の中で浮き彫りになったのは、反対表明した多くの代表議員が、具体的な「プロセスの改善とコスト削減」の明示、つまり財務の透明性を強く求める声を上げたことです。

そのことが、人頭分担金増額審議の少し後に審議された、「制定案（折衷案）25-53 プロセスの改善と RI による経費削減対策に関し定期的に発表するよう規定する件」採択につながりました。2025 年規定審議会の最大の成果と言ってもよい、RI 本部に「財務の透明性」を強く求めた制定案（折衷案）25-53 の採択の経緯について、今回は詳しく報告します。

1830 地区（ドイツ）と前橋ロータリークラブ（2840 地区）との折衷案として

今回採択された制定案 25-53 は、第 1830 地区（ドイツ）と前橋ロータリークラブ（第 2840 地区）との折衷案（同趣旨の内容の提案を提案者双方の合意のもと統合した制定案）として提出されました。元になった前橋ロータリークラブの制定案は、2023 年 10 月の地区大会（保坂ガバナー年度）で地区決議事項として承認されたものです。

以下に提案内容を示します。

折衷案 25-53 プロセスの改善と RI による経費削減対策に関し定期的に発表するよう規定する件
国際ロータリー細則を次のように改正する。

第 18 条 財務事項

18.060. 5 力年財務見通し

18.060.3. ロータリー研究会での 5 力年財務見通しの説明発表

理事またはほかの理事会代理は、各ロータリー研究会で 5 力年財務見通しを説明発表するものとする。その説明の中に、RI が講じた具体的なプロセスの改善とコスト削減策に関する最新情報を盛り込むべきである。（*アンダーライン部分が新たに追加される）

趣旨および効果

本制定案は、採択決議案 23R-25 に従い、第 1830 地区と前橋ロータリークラブにより提案されたものであり、RI 細則を改正し、プロセスの見直しと経費削減に関する定期的な進捗報告を義務づけるものである。これらの報告は、RI の収入と支出との健全なバランスを維持するのに役立つものだが、RI の人頭分担金増額の根拠となっている 5 か年財務見通しでは、そのバランスの変動が十分に説明されていない。

RI 理事会と事務局が、重要なステークホルダーであるクラブに対して、その経営努力についての具体的な説明責任を果たすことで、規定審議会における人頭分担金に関する制定案の説得力が高まり、審議の質が高まることが期待できる。

以上が、立法案集に掲載された折衷案 25-53 の内容です。

そして、実際の規定審議会会場での審議は以下の通り。

（提案者の冒頭論述）〈1830 地区のシュトラック代表議員が発表〉

人頭分担金の増額を抑制する方法について具体的な情報を最後に受け取ったのはいつだったか覚えている人はいますか？

インフレの影響については、誰もが知っています。しかし、ビジネス界とつながりのあるロータリアンなら、私たちが真空中の中で生きているわけではなく、ただ資金を増やせばよいことをよく知っています。要求の正当性を説明し、顧客に対して、より良く、より効率的になるための努力を証明する必要があります。



1830 地区代表議員シュトラックさん提案発表

まさにこれが、この制提案 25-53 の目的です。今後、各ロータリー研究会で提示される 5 年間の予測には、RI が講じた特定のプロセス改善とコスト削減策に関する最新情報が含まれるべきです。ある年にロータリー研究会が開催されないゾーンでは、担当理事がすべてのゾーン内ガバナーにその旨を伝えます。

この制提案が採択されれば、地区やロータリアン仲間に誇らしげに報告することができます。確かに、今後はもう少し費用がかかります。しかし、これからは、各研究会で、管理の効率を高め、資金を賢く使うためにどのような具体的な措置が講じられたかを知ることができます。

2023 年決議審議会では、大多数の賛成により、細則を改正して定期的な進捗報告を義務付け、ロータリーの収入と支出の健全なバランスに向けて取り組むことを提案する決議案 23R-25 が採択されました。ですから、世界中のロータリアンの願いは明らかです。残念ながら、何も起こりませんでした。

母国にいるロータリアンの多くは、このような改善を待ち望んでいます。彼らは不満を言い、なぜまた一人当たりの会費の値上げしか結果にならないのかと不思議がっています。したがって、ここでの決定を説明しやすくするためにも、コスト抑制と効率化に力を入れる必要があります。皆さんにこの提案を支持するようお願いします。

（審議に入る）

（反対） 5220 バランスバジェットの義務に基づいて運営されている。経費のニーズやコストについては、それぞれの経費が目的のためにしっかりと評価され、検討されている。コストセンターのマネージャーがゼロベースの予算組みとして組み立てている。それぞれの研究会でもレポートされている。細則に入れる必要はない。

（賛成） 1920 毎年、ロータリーの内部や外部から大きな寄付を受けている。これは世界をより良くするために寄付をされている。しかし、私たちの寄付というものが不必要なところ、インパクトがもたらされているのかわからないこと、RI 理事会がその効果性をよく見せるべきである。今年の予算は 7%上がっていることなので、財務的な責務を果たして、資金がもっと賢く使われていることを確かめなければならない。

（反対） RI 理事・財務長 規定審議会のメンバーにいつでも見えるように財務について開示している。プロセスも改善している。私たちには内部の監査委員会もあり、すべて簡素化について対応している。すべてできることはしている。財務委員会や監査委員会、そして理事会や管理委員会がしっかり検討している。これはすでにカバーされているということです。

(賛成) 2840 本田 私はこの提案に賛成します。提案者も説明したように、当時の代表議員の多くの賛同によって採択された 23R-25 の趣旨を組織規定に反映するようにするのがこの提案です。決議 23R-25 は、残念ながら 2024 年 1 月の理事会で却下されました。「すでに様々な形で報告しているので、別箇の報告書は必要ない」という理由です。

これは、理事会の見解と、私たち一般ロータリアンとの意識の差が大きいことを示しています。理事会が様々な形でちゃんと報告しているといっても、一般ロータリアンがアクセスできる機会や情報はほとんどありません。

理事会は、私たちクラブの要望にもっと耳を傾けるべきです。私たちから、知る機会を奪わないでください。ロータリーの組織運営についての説明責任を果たしてください。皆さんも、この制定案に賛成をお願いします。

(※共同提案者として、私もマイク席に並び、賛成の応援演説をしました)

(提案者による結びの論述)

代表者からさまざまな貴重な発言を聞きました。結局、これからの投票のポイントは 1 点に集約されます。

ロータリーの主要ステークホルダーであるクラブは、RI 理事会と事務局に管理努力に対する明確な説明責任を求めており、このような透明性は一人当たりの会費とそれに対して私たちが受け取る価値に関する議論の信頼性を高めるのに大いに役立ちます。

また、一人当たりの会費の妥当な値上げに投票した私たち全員にとって、それが容易になります。国際ロータリー本部が、単に資金の増額を求めるだけでなく、私たちの資金を経済的かつ賢明に使うよう努力するよう求められれば、世界中のロータリアンは増額を受け入れやすくなり、文句を言うだけではなくなるでしょう。

したがって、シカゴに資金が流入するだけでなく、そこで資金がどのように使われるかについても説明責任を受け入れ、この提案を支持していただくようお願いします。

結果は、賛成 298 対 反対 186 で採択されました。

折衷案 25-53 採択の背景

なぜ、RI 理事・財務長による反対発言にもかかわらず、本件が採択されたのでしょうか。過去の規定審議会では、理事会が賛成した提案は採択され、理事会が反対した提案は否決されることがほとんどだったのですが、この折衷案 25-53 は、理事会の反対にもかかわらず採択された数少ない事例となったのです。

今回の立法案集発行 (2024 年 9 月) 後、クラブや地区そして理事会は、提出された制定案に対して「支持および反対の声明」を提出 (2025 年 1 月 13 日までに) することができました。この折衷案 25-53 に対して 2 つのクラブから支持の声明 (折衷案 25-53 の「趣旨および効果」と同趣旨の内容) が提出されました。

Aalen-Heidenheim ロータリークラブ (第 1830 地区) と Reutte-Füssen ロータリークラブ (第 1841 地区) の 2 クラブです。この 2 クラブはいずれもドイツの地区に属します。なぜ、ドイツのクラブから支持声明が提出されたのか、その背景を説明します。

前橋ロータリークラブ (2840 地区) と 1830 地区 (ドイツ) の折衷案に至る経緯

話は、2023 年決議審議会にさかのぼります。この時、前橋ロータリークラブが提案した 決議案 23R-25 は、RI のプロセス改善とコスト削減に関する定期的な現状報告を RI 理事会に要請する件というタイトルで、今回と同趣旨の内容 (プロセス改善とコスト削減の定期的報告) を RI 理事会に求めるものでした。

オンラインによる世界の地区代表議員の投票結果は、賛成 373 対 反対 56 の圧倒的多数で採択されました。

ところが、2024 年 1 月の理事会は以下の理由でこの採択決議案を却下したのです（決定 85 号）。

（理由） プロセス改善と経費節減の取り組みは、ロータリーの全レベルで継続的かつ絶え間なく行われていること、これらの取り組みの実施は、理事会、RI とロータリー財団の各委員会、事務総長により定期的に見直されていること、また、ロータリーの運営に関する定期的な情報は、Rotary.org、理事会と管理委員の議事録、ロータリー研究会、国際大会への事務総長報告などで提供されていることを踏まえ、別個の報告書は必要ないとする。

要するに、すでに様々な形で報告しているので、別箇の報告書は必要ないという、木で鼻を括ったような回答でした。

このように、多くの代表議員の声を無視する RI 理事会の姿勢は予測していましたので、2025 年規定審議会で組織規程に反映させる制定案を、畳みかけるように前橋ロータリークラブから提案しました（2023 年 10 月の地区大会で承認）。

これに呼応したのが 1830 地区（ドイツ）でした。制定案提出後、RI の定款細則委員会から、同趣旨の制定案が 1830 地区より提出されたので、両者の提案を統合し折衷案としてもよいか、と打診がありました。後日送られてきた折衷案は、前橋ロータリークラブ提出の制定案を土台にしたものでしたので、折衷案として提出されることに同意しました。立法案集に前橋ロータリークラブと 1830 地区の折衷案 25-53 として掲載されたのは、そういう次第です。

ドイツの代表議員との事前打ち合わせ

折衷案 25-53（共同提案）に関して、1830 地区（ドイツ）の代表議員シュトラックさんと私（本田）とで事前にメールで打ち合わせしました。（すべて英語でのやりとり）

2024 年 12 月 19 日（木）（シュトラックさんから本田へ）

私は南西ドイツ（シュトゥットガルト地域）の第 1830 地区の規定審議会代表としてあなたに手紙を書いています。

私たちの地区は、シカゴで開催される規定審議会で審議される制定案 25-53 を前橋ロータリークラブと共同で提出しました。そして今、シカゴでの総会でこの提案をどのように説明し、提案し、擁護するかを決定する必要があるため、あなたに連絡しています。

あなたの地区の前橋ロータリークラブは、ドイツの代表者から支持される傾向にある他の 2 つの（非常に合理的な）提案も提出しました。ありがとうございます！しかし、あなたはこれらの 2 つの提案（制定案 25-64 と 25-67）についても説明し、提案し、擁護する必要があります。

あなたの仕事を少しでも楽にするために、私はシカゴで提案 25-53 を説明し、提案し、擁護する用意があります。私たちは 1990 年代に米国に住んでいたため、私の英語力は間違いなくこのレベルに達しています。これについてあなたの考えを教えてください！

12 月 20 日（金）（本田からシュトラックさんへ）

親愛なるシュトラックさんへ

うれしいお便りをありがとうございます。制定案 23-53 を 1830 地区と共同提案できることを私も喜んでいきます。シカゴで制定案 25-53 をあなたが説明、提案、擁護していただけるという提案は大いに感謝しています。どうぞご提案のようにご準備いただきたいと存じます。シカゴでお会いできるのを楽しみにしております。

12 月 20 日（金）（シュトラックさんから本田へ）

親切な回答をありがとうございます。

これは共同提案なので、私は全力を尽くして本会議で説明し、推進します。これは国際ロータリーをより良く管理するための素晴らしい一歩になると確信しています。

皆さん、特に前橋ロータリークラブには、この提案を行うための良い議論や理由があると思います。ですから、皆さんの動機や議論を教えてください。私のスピーチにそれらを含めます。

親愛なるロータリアンの友人、本田様、シカゴで直接お会いできるのを楽しみにしています。

追伸：日本のクラブや地区の提案について他にアイデアや議論がある場合、またはヨーロッパのクラブや地区の提案について質問や疑問がある場合（私たちはヨーロッパで協力しています）、情報交換のために私の連絡先を他の日本の規定審議会代表者に遠慮なく教えてください。

ロータリーの基盤、つまりロータリークラブと地区を強化しなければならないと確信しています。

2025 年 4 月 4 日（本田からシュトラックさんへ）

親愛なる友人シュトラックさんへ

規定審議会の開催が近づいてきました。

あなたに発表していただく 2840 地区との折衷案：制定案 25 - 53 について、私たちの考えをコメントします。

本制定案は、賛成 373 対 反対 56 の大差で採択された決議案 23R-25 に基づくものです。残念ながら RI 理事会は、既にいろんな形で報告は提供されているので、新たな報告書は不要と、私たちの提案を却下しました。（添付：2024 年 1 月理事会議事録 P7 決定 85）

これは、非常に不誠実な回答です。プロセスの改善・経費節減に努力する具体的な方策の詳細を一般ロータリアンに公開するつもりはないようです。RI は人頭分担金増額の根拠となる財務状況の説明責任を果たしていません。...

2025 年 4 月 5 日（シュトラックさんから本田へ）

連絡をくださり、背景情報をすべて送ってくださりありがとうございます。直接お会いできるのを楽しみにしています。日本のロータリアンは規定審議会に非常に関わっているようですが、それは良いことです。なぜなら、理事会は一般的に、権限を自分たちに与え、規定審議会から権限を奪おうとする傾向があるからです。

あなたや他の日本代表が、規定審議会を強化し、RI 理事会の権限拡大を回避することを目指しているドイツとオーストリアの他の制定案（18、53、54、62、68）を支持することも検討していたのであれば幸いです。

以上が、1830 地区の代表議員シュトラックさんとの事前のメールでのやりとりです。このような背景のもと折衷案 25-53 は採択されました。

シュトラックさんからのメールでもうかがえるように、ドイツ・オーストリアの地区の代表議員たちは、立法案集に掲載された制定案に関して事前の意見交換を活発に行っていました。そして、ドイツ・オーストリアの地区からの提案は、RI 理事会の権限拡大を回避し、規定審議会の権限を回復・強化する姿勢で一貫していました。これは、私たち日本の多くの代表議員の問題意識と共通する認識だと思います。

RI 運営のプロセスとコスト構造について専門家による定期的な分析を委託する

実際、採択された折衷案 25-53 の次に審議された制定案 25-54 理事会の権限を改正する件は、オーストリアの地区からの提案で、25-53 採択の勢いのまま、代表議員からの反対意見もなく、あっという間に、賛成 378 対 反対 107 で採択されたのです。提案内容は以下の通りです。

制定案 22-54 理事会の権限を改正する件

提案者：Baden bei Wien ロータリークラブ（オーストリアとボスニア・ヘルツェゴビナ、第 1910 地区）

国際ロータリー細則を次のように改正する。

第 5 条 理事会 5.010. 理事会の任務

5.010.2. 権限

理事会は、次の方法によって RI の業務を指示・管理する。

- (a) 組織の方針を定める。
- (b) 事務総長による方針実施の評価を行う。
- (c) RI 運営における定期的な過程・コスト分析の委託、ならびに RI 世界本部と国際事務局の間における職員の役割・責務の配分と組織化の見直しと修正など、透明性を高める。

趣旨および効果

RI 理事会は、ロータリーの大義の前進に必要とあらば何でも行う責任を有しており、これには当然、ロータリーの財務安定性の保護が含まれる。それに寄与する主たるものはクラブの人頭分担金であり、これはやや感情的とも言える白熱した討議の末に、2022 年規定審議会により増額された。5 カ年財務見通しは、多くの代表議員にとって十分に納得いくものではなく、正確な財務報告の手段としてのその価値は多くのクラブで未だ議論的となっているようである。

本制定案は、大規模組織の経営のための国際的なベストプラクティスを適用し、RI 運営（エバンストンの世界本部と国際事務局）における専門的な過程分析とコスト構造分析を定期的に委託するよう理事会に要請するものである。本制定案の目的は、RI の財務管理と透明性の新たな局面を開始することである。そのような目標を採用することで、RI は、財務リーダーシップの非常によい前例を作ることとなり、それをロータリーにおける地域的な活動の模範としても採用できるかもしれない。

理事会は、そのような各種の組織分析の結果を定期的に報告することが求められ、それによって理事会とクラブ・地区の間の透明性あるコミュニケーションが促進される。これは、人頭分担金に関する今後の討論において信頼性を高めるための前向きなステップと見なされるであろう。

実は、この制定案 25-54 に対して理事会は以下のような「反対声明」を事前に提出していました

RI 理事会による反対の声明

25-54 理事会の権限を改正する件

理事会は、ロータリー内での透明性を高めることを支持しており、本制定案に記載されている行動を定期的に実施している。理事会は本制定案に反対する。その理由は、理事会は「透明性を高めること」や挙げられた例は、理事会の「権限」の中に追加されるにふさわしいと

は考えていないためである。理事会の権限とは、理事会が特定の行動を取る法的または組織規定上の権限を付与されている中核的な機能を指す。例えば、細則に現在記載されている理事会の権限には、a) ロータリーの方針を定める権限、b) 事務総長による方針の実施を評価する権限、c) すべての RI 役員、次期役員、委員会に対する管理と監督を行う権限、d) ロータリーの組織規定またはイリノイ州法によって与えられたその他の権限を行使することがある。「透明性の向上」は、理事会の権限ではなく、理事会が組織の実施方針を確立し、評価する既存の権限に既に含まれている、そして理事会が定期的に行うことができる管理上の措置である。

理事会は、提案された文言が理事会の既存の権限に何かを追加するものではなく、理事会の「権限」に属していないと考えているため、制定案 25-54 に反対する。

この制定案 25-54 も前の折衷案 25-53 同様、理事会が反対したにもかかわらず採択された数少ない事例となりました。人頭分担金増額の議論に端を発して、RI 理事会に説明責任と財務の透明性を求める代表議員の声が結実したわけです。

財務の透明性 (Financial transparency)

『ロータリーの友』2025 年 6 月号には、11 ページにおよぶ充実した 2025 年規定審議会特集が組まれましたが、ロータリーの機関誌『ROTARY』(英文) 2025 年 7 月号には見開きの簡単な結果報告記事が載っただけでした。

そこにトピックの一つとして「財務の透明性」(Financial transparency) (57 ページ) というタイトルで以下のような記述がありました。

代表議員は、各審議会の冒頭で提示される 5 年間の財務予測に、RI が実施した具体的なプロセス改善とコスト削減策の最新情報を含めることを義務付ける投票を行いました。

(* これは、採択折衷案 25-53 のことを言っている)

同様の措置として、審議会は RI の運営におけるプロセスとコスト構造について、専門家による定期的な分析を委託することを承認しました。(* 採択制定案 25-54 のこと)

今回のレポート冒頭、制定案 (折衷案) 25-53 の採択が、2025 年規定審議会の最大の成果だと申しました。RI 本部の説明責任と財務の透明性を求める多くの地区からの声が結実したことの意義は大きいと思います。今後の規定審議会での人頭分担金増額案の議論にも大きく影響することになるでしょう。

更に、折衷案の形でドイツと共同提案できたこと、そのやりとりの中で他国の代表議員との連携が可能であること、日本に限っても代表議員間の事前の情報交換・意見交換が重要であることが明確になったことも成果と言えるでしょう。

次回は、これも今回の規定審議会の成果と言える事前の代表議員有志による 4 回におよぶ勉強会についてレポートします。



代表議員席から議長席を臨む

第4回 ガバナー補佐会議

- 日 時： 日時 2025 年 8 月 2 日(土) 14:00 ～ 15:40
- 場 所： 前橋問屋センター会館 2 階
- 司 会： 地区幹事 樋口哲雄
- 出席者： 竹中 隆ガバナー、三好建正ガバナーエレクト、湯澤 晃ガバナーノミニー
田中久夫地区ラーニングファシリテーター・地区ラーニング・管理運営委員会委員長
森田高史地区ラーニング・管理運営委員会副委員長
中野正美地区ラーニング・管理運営委員会副委員長
森 末廣委員、新井良和委員、君島准逸委員、飯田知義委員、津久井 功委員
小磯正康ガバナー補佐、鷹巣 修ガバナー補佐、関口朋克ガバナー補佐
大谷恒雄ガバナー補佐、赤井幸夫ガバナー補佐、和田雅之ガバナー補佐
樋口哲雄代表地区幹事、井上智太地区副幹事、堀込敏彦地区副幹事
- 報告者： 地区副幹事 井上智太（高崎 RC）

2025 年 8 月 2 日（日）に前橋問屋センター会館で開催された第 4 回ガバナー補佐会議では、クラブ活性化に向けた取り組みとして 8 月 24 日（日）に予定されている「クラブ活性化ワークショップ」の内容が検討された。「もっと元気なクラブになろう」をテーマに、戦略的オープン例会の実施、衛星クラブ設立、会員種類の見直し、退会防止策などを通じて会員増強を図る事が話し合われた。

分区ごとの課題も共有され、会員数・地域性・財政面などにより対応が異なることが明らかになった。また、衛星クラブについては理解度が低く、法人会員や女性会員の受け入れ促進、多様性への対応が必要とされた。

衛星クラブについては、「クラブ活性化ワークショップ」で行われる国際ロータリー第 2580 地区パストガバナー若林英博様の基調講演により理解が深められる事を期待する。

ワークショップでは各分区ごと 8 グループに分かれてディスカッションを行い、終了後代表者による発表がおこなわれることが決まった。

各分区のガバナー補佐より 7 月の活動について報告があり竹中 隆ガバナー、田中久夫地区ラーニングファシリテーターと活発な意見の交換が行われた。



ロータリー財団 グローバル補助金 前橋西ロータリークラブ 平林まりさん 奨学金授与式

- 日 時： 2025年8月1日 12:10～13:10
- 開催場所： ホテルサンダーソン
- 出席者： 竹中 隆ガバナー
小林洋樹ロータリー財団委員長
石川好男グローバル補助金委員長
菊池千恵グローバル補助金副委員長

昨年の森 末廣ガバナー年度にグローバル補助金の「地域社会の経済発展」の重点分野で前橋西ロータリークラブから提唱を頂いた平林まりさんへの奨学金の授与式（前橋西ロータリークラブの例会）が行われ、竹中 隆ガバナーと財団メンバーで参加させて頂きました。

平林まりさんは高校1年生の時にロータリーのアメリカ・カンザス州オレサ市へ海外派遣プログラム（夏季短期交換留学）で派遣学生として参加し、その趣旨である国際理解を十分に体现し、世界の社会問題に対する理解を深め、国際的な問題解決への関心を高める契機となりました。その後、その経験を礎に青山学院大学国際政治経済学部に進学され、経済的、社会的な不平等が様々な社会構造に与える影響について研究を続け、経済的・社会的困難に直面している母子家庭、児童養護施設出身者、移民・難民といった支援が必要な人々に貢献する方法を学ぶことがキャリアとなりました。更に、実践的なスキルを身につけることで社会に貢献する力を養いたいと考え、イギリス・リーズ大学の「Inequalities and Social Science MSc」プログラムを学び、大学院を卒業後はユニセフでリサーチャーやアナリストとして活動したいとグローバル補助金の奨学生の申請を頂きました。今後ロータリーの精神である「人と人とのつながり」を大切にしながら、社会に還元して頂けることと考えます。

前橋 前橋西ロータリークラブ（町田伸行会長）は1日、前橋市内で例会を開いた。ロータリー財団のグローバル補助金を活用して英リーズ大大学院に1年間留学する平林まりさん（22）＝前橋女子高出身＝が出席し、感謝の言葉を述べた＝写真＝。

平林さんは高校時代、同クラブの海外派遣プログラムに参加し、社会問題に対する知識や英語力の必要性を実感。青山学院大国際政治経済学部に進み、今春卒業した。

国連児童基金（ユニセフ）職員として社会問題の解決に貢献することを目標に掲げており、「実戦的なスキルと知識を身に付けたい」と同クラブを通じ補助金を申請した。

児童養護施設出身である平林さんは「施設の子供たちに希望を与え、ロータリーの方々に新たな知見を伝えられるよう有意義な1年間にしたい」と意気込みを語った。（高木大喜）

「有意義な1年」に
西ロータリー例会
英留学の平林さん





RLIファシリテーター研修会

- 日 時： 2025 年 8 月 3 日（日） 13：00～15：30
- 場 所： 前橋問屋センター会館 華の間
- 出席者： 本田博己 RLI 日本支部委員長・パストガバナー、森田高史パストガバナー、
足立 進パストガバナー、中野正美パストガバナー、山田邦子パストガバナー、
保坂充勇パストガバナー、三好建正ガバナーエレクト、
関口俊介 RLI 推進委員会委員長、本年度ファシリテーターの皆様 総勢 28 名
- 報告者： RLI 推進委員会委員長 関口俊介 （高崎 RC）

9 月 28 日から始まる、RLI セミナーに先立ちまして、RLI ファシリテーター研修会が、8 月 3 日（日）、前橋問屋センター会館 華の間で開催されました。

当日は、昨年度に引き続き、RLI 日本支部委員長を務められている、本田博己パストガバナーの講義をはじめ、6 チームに分かれて、チームミーティングを行いました。当日のプログラム、チームミーティングの内容につきまして、以下の通り報告致します。

- 13:00 開会 司会：原 敬 RLI 推進委員
挨拶・本日の趣旨 関口俊介 RLI 推進委員会委員長
- 13:05 ～ 14:10 ファシリテーターの役割と準備 本田博己 RLI 日本支部委員長・PDG
- 14:10 ～ 14:25 ≪休憩≫
- 14:25 ～ 15:30 チームミーティング（各 6 セッション）

【テーマ】

- 第 1 チーム パート1：ロータリーにおけるリーダーシップ
 パート2：成功に導くための計画「戦略計画とクラブの分析」
 パート3：効果的なリーダーシップ
- 第 2 チーム パート1：私のロータリーの世界
 パート2：チーム作りとクラブ・コミュニケーション
 パート3：私たちがロータリーを変える 規程審議会・決議審議会
- 第 3 チーム パート1：会員の参加を促す
 パート2：会員を勧誘する
 パート3：公共イメージ
- 第 4 チーム パート1：ロータリー財団Ⅰ 私たちの財団
 パート2：ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕
 パート3：ロータリー財団Ⅲ 国際奉仕

第5チーム パート1：奉仕プロジェクトを創造する
 パート2：ロータリー 米山記念奨学事業
 パート3：ロータリーの機会

第6チーム パート1：倫理と職業奉仕
 パート2：強いクラブを創る
 パート3：変化をもたらす

本田 PDG のレクチャーの後、6 チームに分かれて配布されているガイドブックやテキストに沿った各セッションについて、及び今後3回行われるセミナーのファシリテーターの担当等について、活発な意見交換がなされました。

15:30 閉会 木下康彦 RLI 推進委員



第2回 青少年交換委員会

- 日時：2025年8月9日（日） 13:00～14:00
- 場所：前橋問屋センター会館
- 参加者： 竹中 隆ガバナー、三好建正ガバナーエレクト、櫻井正晴地区幹事、
新井 聡青少年交換委員長、久保貴則副委員長、久保文孝副委員長、
小暮健一委員、飯島芳臣委員、前原信之委員、荒木千津子委員、宇田栄二委員、
中山雅之委員、小林晴彦地区副幹事、小池達哉地区副幹事、ROTEX 布瀬川祥子、
ROTEX 梨本あかね、ROTEX 壘 友理、ROTEX 田中絢音、ROTEX 土田弦太、
ROTEX 大嶋紀穂、ROTEX 飯塚もも子、ROTEX 大嶋章仁
- 報告者： ROTEX 壘 友理

開催にあたり、竹中 隆ガバナーより「青少年交換委員会の活動は多くの負担があるが、ロータリアンや学生の成長、新たな価値観の獲得が期待され投資として大きなリターンがあるプログラムである。」

と青少年交換委員会の活動意義と負担について挨拶があり、その後、新井 聡委員長より「委員会メンバーに対し日々の協力への感謝の言葉と ROTEX に派遣学生へのオンライン面談によるバックアップに派遣学生より感謝の連絡を頂いた。今後も青少年交換プログラムへ協力をお願いしたい。」と委員並びに ROTEX へのお礼があり、

その後、以下の事項について委員会内で議論が行われた。三好建正ガバナーエレクトの総評では、派遣学生への激励が述べられた。



議題は以下の通り、

1. OBS 渡航準備状況について

2. IBS の来日予定について

- ・ 渋川 RC ホスト学生：8月16日来日予定。
- ・ 高崎シンフォニー RC ホスト学生：8月19日来日予定。
- ・ 高崎 RC ホスト学生：派遣元地区を交え本人へ日程確認中。

3. 帰朝報告会歓迎会の開催について

- ・ 8月31日にホテルサンダーソンで開催予定。

4. 次期派遣候補学生応募状況について

【長期派遣候補生】

- ・現在応募者 3 名（アメリカ希望 1 名、オーストラリア希望 2 名）
【短期派遣候補生】
- ・現在応募者 3 名（フィンランド希望 1 名、英語圏希望 2 名）

5. ガバナー月信について

- ・委員会開催後、ROTEX より記事作成の申し入れがあり、ガバナー月信は ROTEX 担当とした。

6. 次回会議の日時・場所

日時：8月31日（日）10:00～11:00 予定

11:00～12:00 オリエンテーション

場所：ホテルサンダーソン

7. その他

委員会会議終了後、第1回ホストクラブオリエンテーションおよび2025-26年度第2回派遣学生オリエンテーションが開催された。

ホストファミリーとスポンサークラブの交流と、派遣学生の書類や4Dルール等危機管理に関する最終確認が行われた。



また、夕刻より ROTEX 同窓会がホテルメトロポリタン高崎にて開催され正副委員長同席のもと18名（うちオンライン2名）の ROTEX が参加し旧交を深め、今後ますます委員会に協力していく旨等が話し合われた。



地区内クラブ奉仕事業のご紹介（桐生西 RC）

下記地区内クラブ奉仕事業は、2023～2024（保坂ガバナー年度）に実施いたしました奉仕活動アンケートをもとに、毎月1クラブずつ紹介していきます。これからの奉仕活動の参考にしてください。

職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会

桐生西ロータリークラブ

- 記入者 2025-26 幹事 河内良範
- プロジェクト名 群馬県立大間々高等学校進路支援講話および模擬面接
- 目的 生徒の進路選択為の講話や就職希望者の為の模擬面接
- 対象（受益者） 大間々高等学校就職希望者（3年生）
- 参加者 桐生西ロータリークラブ会員（講師）8名程度
- 費用 0円
- 実施期間： 講話（5月）、面接（8月3週目で2日間）

進路講話について

進路支援講話は5月ごろ、進学や就職を控えた生徒（3年生）に進路（進学・就職）の選択の参考になるようにと10年以上前から行っている。進路担当の教諭より講師依頼を受け当クラブで適任者を選定する。主に製造業や鉄鋼業などと職業分類のリクエストが来ることもある。講師は毎回2名ほど派遣する。講師によっては生徒に対し質問をするときもあるが、講話の内容についての指定は特にない。この事業は体育館に集まり対象学年全員が参加する。



模擬面接

8月の第3週頃、2日間にわたり就職希望の生徒の為にロータリアンで企業の経営者や人事担当者が面接官となり模擬面接を行う。面接会場は教室であり1対1の個人面接や、1対3の集団面接を行う。両日ともに3名のロータリアンが講師となり生徒一人一人に質疑応答を行う。

生徒は面接の練習を通じて希望する就職先への思いを伝える

面接官役のロータリアンは、言葉遣いや目線、さらには姿勢などの注意点を指導したり、自分の長所をどのように表現するかをレクチャーする。学校からは事前に「模擬面接実施要項」や「面接質問例等」が送られてくるが、これらを参考にして生徒が就職試験に合格できるように適切なアドバイスを送る。



活動成果

進路講話については、進学・就職と迷っている生徒を後押しできるように、また模擬面接では、本番で生かされるようなアドバイスを行い、少しでも就職率が上がるのであれば成果があると考えられる。高等学校と生徒、ロータリークラブと三位一体で進路や就職に取り組むことはロータリーが提唱する5大奉仕活動の1つではなかろうか、もしこの事業に参加した生徒が将来ロータリアンになってくれれば大きな成果と言えるであろう。

地区ガバナー候補者 (ガバナーノミニー・デジグネート) 推薦についてのお願い

ガバナー 竹中 隆
ガバナー指名委員会 委員長 足立 進

RI 細則 12 条 1 節により、2028-2029 年度の地区ガバナー候補者を本年度末（2026 年 6 月末）までに指名・推薦する必要があります。

つきましては、RI 細則 12 条 3 節 3 項（クラブによるガバナーノミニーの推薦）に基づき、2028-2029 年度国際ロータリー第 2840 地区ガバナー候補者をご推薦賜りたくお願い申し上げます。

記

地区ガバナー候補者の資格要件として、下記の各項が要求されます。詳しくは 2022 年 手続要覧（39 ページ）をご参照ください。

- (1) 地区内のクラブの瑕疵なき会員であること
- (2) クラブ会長を全期務めたことのある者
- (3) ガバナーの任務と責任を果たす意思と能力のある者
- (4) 細則に定められているガバナーの資格条件、任務および責任を熟知していること
- (5) ガバナー就任時点で通算 7 年以上クラブ会員であること

ガバナー候補者推薦状は、RI 細則 12 条 3 節 3 項を熟読の上、クラブ例会で採択された決議の形で、クラブ幹事が正式に証明した文書をもって、2025 年 12 月 31 日までに、竹中 隆ガバナー事務所にご提出ください。

送付先
〒371-0855
前橋市問屋町 2-2 前橋問屋センター会館 1 階
竹中 隆ガバナー事務所

ご案内

国際ロータリー第 2840 地区大会のご案内

開催日時 2025 年 10 月 24 日 (金) 午後・10 月 25 日 (土) 午後

開催日時 ホテルメトロポリタン高崎 (高崎市八島町 222 番地)

高崎芸術劇場 大劇場 (高崎市栄町 9-1)

10/24 (金) 午後より

■ ホテルメトロポリタン高崎

- ・地区リーダーシップセミナー [RI 会長代理講演]
- ・RI 会長代理歓迎晩餐会

10/25 (土) 午後より

■ 高崎芸術劇場大劇場

- ・農大二高吹奏楽部とシャインスターズによる歓迎演奏
- ・RI 会長メッセージ・現況報告
- ・定例プログラム
- ・ポリオデー関連プログラム

■ ホテルメトロポリタン高崎

- ・大懇親会

第 2840 地区 地区大会記念ゴルフ大会のご案内

開催日時 2025 年 9 月 27 日 (土) 午前 7 時より

開催日時 サンコーカントリークラブ

〒 370-2131 群馬県高崎市吉井町岩崎 2 1 7 9
TEL 027-388-2800

ホスト 高崎東ロータリークラブ

* 詳細については決定次第ご案内させていただきます。

ガバナー公式訪問要領

1. ガバナー公式訪問は、単独クラブ訪問とします。
2. 訪問時は、ガバナー、ガバナー補佐、及び地区幹事又は分区担当副幹事のいずれか 1 名の計 3 ～ 4 名が原則訪問します。
3. **公式訪問前クラブ協議会の実施**
 ガバナー補佐は、公式訪問前 2 週間前までに所管のクラブを訪問し、例会前後の時間等を利用してクラブ役員との協議会を実施し、各クラブの現況や課題、クラブの目標や地区運営に関する意見等について協議するとともに、公式訪問についての事前協議を行ってください。また、その結果を所定の様式にて公式訪問の 1 週間前までにガバナー事務所まで報告してください。上記は、数名のクラブ役員との懇談でも結構です。
4. **クラブ例会内での公式訪問の趣旨説明**
 ガバナー補佐は、公式訪問前のクラブの例会において、公式訪問の趣旨や要領、また、現状の地区運営の状況などを 10 分～ 15 分程度、クラブ会員に対して説明し、出席を奨励してください。
5. **公式訪問の進め方**
 - (1) クラブ役員との懇談会〔例会前 50 分〕
 会長、幹事、会長エレクト、クラブ・ラーニング・ファシリテーター、副会長、会員増強委員長、公共イメージ委員長、クラブが課題と認識している担当委員長等、及び地区役員、インターアクト、ローターアクト提唱クラブは、各会長も出席してください。
 - (2) 例会
 ガバナースピーチとして 20 分程度時間を割いてください。PC、プロジェクター、スクリーンの準備をお願いします。
 - (3) クラブ協議会〔例会後 60 分〕
 懇談会参加者のほか、各委員長、新入会員を義務出席とし、会員全員に出席を奨励してください。本年度は、特に地区とクラブの双方向性をキーワードとしておりますので、双方向の協議が十分できるような設営をお願いします。協議内容については以下の項目を入れてください。
 - ①クラブの課題
 - ②クラブの目標（特に会員増強計画）の進捗状況
 - ③地区運営に関するクラブのご意見
6. **公式訪問の目的は、国際ロータリー細則に以下のように規定されています。**
 個々のクラブあるいは複数クラブ合同の例会への公式訪問を行うこと。その際には、以下を行うため、ガバナーの出席が最大限の成果を生むような機会を選ぶようにする。
 - ①ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。
 - ②弱体クラブ、あるいは問題を抱えたクラブに関心を払う。
 - ③奉仕活動参加へのロータリアンの意欲をかきたてる。
 - ④クラブの定款と細則が、ロータリーの組織規程を遵守していることを確認する。
 - ⑤顕著な貢献をした地区内のロータリアンをガバナー自ら表彰する。
7. 各クラブは現況報告書（4 部）を 8 月 31 日までにガバナー事務所に提出してください。
 9 月 13 日までに訪問するクラブは仮報告書を、訪問 2 週間前までに提出してください。

2025-2026年度 ガバナー公式訪問日程表

2025年 8月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 桐生 (第2分区A)	19	20 桐生南 (第2分区A)	21	22 桐生西 (第2分区A)	23
24/31	25	26 桐生赤城 (第2分区A)	27	28	29	30

2025年 9月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1	2 富岡かぶら (第6分区)	3 館林東 (第4分区B)	4	5 藤岡南 (第6分区)	6
7	8	9 伊勢崎南 (第2分区B)	10 新田 (第4分区A)	11 館林 ミレニアム (第4分区B)	12	13
14	15	16 安中 (第6分区)	17 富岡 (第6分区)	18 藤岡 (第6分区)	19 館林 (第4分区B)	20
21	22	23	24 伊勢崎 (第2分区B)	25 富岡中央 (第6分区)	26 太田中央 (第4分区A)	27
28	29	30				

2025年 10月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1 大泉 (第4分区B)	2 沼田中央 (第5分区)	3	4
5	6	7 藤岡北 (第6分区)	8 太田西 (第4分区A)	9 碓氷安中 (第6分区)	10	11
12	13	14 沼田 (第5分区)	15	16 渋川 (第5分区)	17 前橋西 (第1分区)	18
19	20	21	22	23	24 (地区RSS)	25 (地区大会)
26	27	28 中之条 (第5分区)	29 前橋南 (第1分区)	30 群馬境 (第2分区B)	31	

2025年 11月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
						1
2	3	4 渋川みどり (第5分区)	5 前橋中央 (第1分区)	6 太田 (第4分区A)	7	8
9	10 伊勢崎東 (第2分区B)	11 太田南 (第4分区A)	12	13 伊勢崎中央 (第2分区B)	14	15
16	17	18	19	20	21 高崎 シンフォニー (第3分区)	22
23/30	24	25 前橋 (第1分区)	26	27 前橋東 (第1分区)	28	29

2025年 12月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1 高崎 (第3分区)	2 高崎南 (第3分区)	3	4	5	6
7	8 前橋北 (第1分区)	9 高崎 セントラル (第3分区)	10	11 高崎東 (第3分区)	12	13
14	15	16	17 高崎北 (第3分区)	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2025-2026 年度 地区主要行事予定表

日付		時間帯	項目	場 所
2024 年				
9月	1(日)		竹中ガバナーエレクト事務所開設	
	8(日)	10:30～	★第2回ガバナー諮問委員会(森年度主催)	前橋商工会議所会館
	8(日)	13:00～	★第3回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議(森年度主催)	前橋商工会議所会館
11月	16(土)	16:00～	第1回ガバナー補佐会議	たかさき書斎
12月	7(土)	14:00～	第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	ロイヤルチェスター前橋
	10(火)16(月)～20(金)		委員長予定者ヒアリング	ガバナー事務所
2025年				
1月	25(土)	16:00～	★第3回ガバナー諮問委員会(森年度主催)	ロイヤルチェスター前橋
	25(土)	18:00～	★竹中ガバナーエレクト壮行会(森年度主催)	ロイヤルチェスター前橋
2月	2(日)	13:00～	第1回地区ラーニング・管理運営委員会	前橋問屋センター会館
	2(日)	14:00～	第2回ガバナー補佐会議	前橋問屋センター会館
	2(日)	15:00～	第2回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	前橋問屋センター会館
	9(日)～13(木)		国際協議会(竹中ガバナーエレクト出席)	オーランド(フロリダ州)
	22(土)	10:00～	★第4回ガバナー諮問委員会・GE報告(森年度主催)	前橋商工会議所会館
	22(土)	13:00～	地区チームラーニングセミナー	前橋商工会議所会館
	22(土)	16:00～	第2回地区ラーニング・管理運営委員会	前橋商工会議所会館
3月	1(土)	午後	★(米山奨学生修了式/歓送会)	ホテルメトロポリタン高崎
	8(土)～9(日) 10:00～		会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー	磯部ガーデン
	27(木)～30(日)		★(インターアクト台湾国際交流事業)	台湾
4月	5(土)	14:00～	ロータースクット研修	高崎市総合福祉センター
	13(日)	10:00～	第3回地区ラーニング・管理運営委員会	ガバナー事務所
	13(日)	13:00～	第3回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	前橋問屋センター会館
	20(日)	午前	★(新規米山奨学生カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
	20(日)	午後	★(新規米山奨学生・カウンセラーオリエンテーション)	前橋問屋センター会館
	20(日)	午後	★(継続米山記念奨学生資格面談)	前橋問屋センター会館
5月	18(日)	終日	クラブリーダーシップ・ラーニング・セミナー 式典	群馬音楽センター
	18(日)	夜	クラブリーダーシップ・ラーニング・セミナー 懇親会	ホテルグランビュウ高崎
6月	7(土)	午後	★(米山記念奨学生指定校選定会議・米山学友会総会)	ロイヤルチェスター前橋
	14(土)	午後	★第5回ガバナー諮問委員会(森年度主催)	たつ吉
	14(土)	午後	★現新地区役員合同連絡会議(森年度主催)	たつ吉
	15(日)		★(青少年交換受入学生歓送会・長期派遣学生壮行会)	前橋問屋センター会館
	16(月)	15:00～	クラブ管理運営セミナー	高崎商工会議所6階ホール
	21(土)～25(水)		★国際大会	カルガリー
7月	1(土)		竹中ガバナー事務所開設	
	13(日)	10:00～	第1回ガバナー諮問委員会	ホテルグランビュウ高崎
	13(日)	13:00～	第4回地区ラーニング・管理運営委員会	ホテルグランビュウ高崎
	16(水)	18:30～	<ロータリー野球大会コミッショナー会議>	ホテルグランビュウ高崎
	19(土)	9:50～	(インターアクト年次大会)	前橋市民文化会館
	19(土)	18:30～	ロータースクット合同ミーティング	前橋商工会議所会館
8月	2(土)	14:00～	第4回ガバナー補佐会議	前橋問屋センター会館
	3(日)	13:30～	(RLIファシリテーター研修会)	前橋問屋センター会館
	24(日)	13:20～	クラブ活性化ワークショップ	前橋問屋センター会館
	26(火)	12:00～	(米山指定校説明会)	前橋問屋センター会館
	30(土)	午前	<ロータリー野球大会 第1日目 開会式>	前橋桃ノ木川グラウンド
	31(日)	12:30	青少年交換長期受入学生歓迎会・派遣学生帰朝報告会	ホテルサンダーソン
9月	1(土)		三好ガバナーエレクト事務所開設	
	6(土)	午前	<ロータリー野球大会 第2日目>	前橋桃ノ木川グラウンド

日付		時間帯	項目	場 所
9月	13(土)	午後	ロータリー財団補助金管理セミナー	前橋問屋センター会館
	13(土)	午前	<ロータリー野球大会 第3日目>	前橋桃ノ木川グラウンド
	14(日)	10:30～	第2回ガバナー諮問委員会	前橋問屋センター会館
	14(日)	12:10～	第5回地区ラーニング・管理運営委員会	前橋問屋センター会館
	14(日)	13:30～	第4回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
	15(月・祝)	13:30～	(青少年交換派遣学生選考会)	前橋問屋センター会館
	20(土)	午前	<ロータリー野球大会 第4日目 閉会式>	前橋桃ノ木川グラウンド
	27(土)		地区大会記念ゴルフ大会	サンコーカントリークラブ
	28(日)	終日	(R L I セミナー Part I)	前橋問屋センター会館
10月	4(土)	午前	(米山記念奨学生カウンセラー研修会)	前橋問屋センター会館
	4(土)	午後	(地区米山研修セミナー)	前橋問屋センター会館
	19(日)	終日	(R L I セミナー Part II)	前橋問屋センター会館
	19(日)	午前	<ロータリー野球大会 予備日>	前橋桃ノ木川グラウンド
	24(金)	午後	地区リーダーシップセミナー	ホテルメトロポリタン高崎
	24(金)	夜	R I 会長代理歓迎晩餐会	ホテルメトロポリタン高崎
	25(土)	午後	地区大会 式典	高崎芸術劇場
	25(土)	夜	地区大会 懇親会	ホテルメトロポリタン高崎
11月	7(金)～9(日)		(ロータリー全国選抜野球大会)	
	9(日)	終日	(R L I セミナー Part III)	前橋問屋センター会館
	29(土)	午後	(米山記念奨学生選考会面接員オリエンテーション)	ロイヤルチェスター前橋
	29(土)	夕方	(米山学友会忘年会)	ロイヤルチェスター前橋
			新会員セミナー	
12月	6(土)	午後 夕方	第3回ガバナー諮問委員会 三好ガバナーエレクト壮行会	ロイヤルチェスター前橋 ロイヤルチェスター前橋
	8(月)		クラブ管理運営セミナー(三好年度)	前橋問屋センター会館
			(R Y L A 研修セミナー)	
2026年				
1月	11(日)～15(木)		国際協議会(三好ガバナーエレクト参加)	オランダ(フロリダ州)
	24(土)	終日	(米山記念奨学生選考会)	前橋問屋センター会館
			(職業奉仕セミナー)	
2月	14(土)	午前	第4回ガバナー諮問委員会・GE報告会	前橋問屋センター会館
	14(土)	午後	地区チームラーニングセミナー(三好年度)	前橋問屋センター会館
	23(月)		ロータリーデー	
3月	1(月)	午後	(ローターアクト年次大会)	プラザ・アリア(伊勢崎)
	7(土)	午後	(米山記念奨学生終了式・歓送会)	ホテルメトロポリタン高崎
	15(日)		会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー(三好年度)	磯部ガーデン
	20(金・祝)	午後	新会員セミナー	前橋問屋センター会館
			(インターアクト台湾国際交流事業・派遣)	
4月	18(土)	午前 午後 午後	(新規米山記念奨学生カウンセラーオリエンテーション) (新規米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション) (継続米山記念奨学生資格審査面談)	前橋問屋センター会館 前橋問屋センター会館 前橋問屋センター会館
			新会員セミナー	
			(インターアクト台湾国際交流事業・受入れ)	
			(青少年交換ホストクラブ第1回オリエンテーション)	
5月	16(土)	午後	地区補助金最終審査会	前橋商工会議所会館
	16(土)	終日	クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー(三好年度)	
6月	8(月)	14:00～	クラブ管理運営セミナー(三好年度)	前橋問屋センター会館
	13(土)～17(水)		国際大会	台北
	20(土)	午後	(米山学友会総会)	ロイヤルチェスター前橋
	20(土)	午後	(米山記念奨学生指定校選定会議)	ロイヤルチェスター前橋
	27(土)	午後	第4回ガバナー諮問委員会	ロイヤルチェスター前橋
		午後	現新地区役員合同連絡会議	ロイヤルチェスター前橋
			(青少年交換受入学生歓迎会・夏期交換学生歓迎会)	

2025-2026 年度 周年行事・IM 開催予定表

2025-2026 年度 周年行事予定クラブ

年	月	日	曜日	周年	クラブ名	場 所
2026	4	11	土	60	桐生南RC	美喜仁桐生文化会館
2026	4	12	日	40	沼田中央RC	ホテルベラヴィータ
2026	4	19	日	30	高崎シンフォニーRC	ホテルメトロポリタン高崎
未 定				25	藤岡南RC	未 定

2025-2026 年度 IM 開催予定表

年	月	日	曜日	区 分	場 所
				第1分区	
				第2分区A	
				第2分区B	
				第3分区	
				第4分区A	
				第4分区B	
2025	11	24	月・祝	第5分区	
				第6分区	



第1地域 恒久基金/大口寄付アドバイザー 森川 昭正（仙台宮城野 RC）

去る2025年4月27日～29日の3日間、エバンストンにある国際ロータリー本部において、2025年度グローバル・フィランソロピー・セミナー（GPS ; Global Philanthropy Seminar）が開催されました。このGPSは新しく就任するE/MGA（恒久基金/大口寄付アドバイザー）及びEPNC（ポリオ根絶コーディネーター）を対象としたセミナーで、今回は世界各地域の2025-26年度から就任する次期E/MGA;20名、次期EPNC;16名が参加しました。

E/MGAがロータリーの地域リーダーの一つの役目として初めて任命されたのは2013年です。その後、日本の3地域で基本的に3年おきに1名ずつが任命されてきました。第1地域では私が5代目のE/MGAとなります。

今回のセミナーは、自身がガバナーエレクトとして参加した国際協議会以来のグローバルなセミナーで、かつ、世界のロータリーのトップリーダーの多くに出会い、交流するという大変貴重な経験でした。

ロータリー会員であれば多くが憧れるロータリー発祥の地シカゴ近郊にある”ロータリー国際本部”。

ポール・ハリスら4人が初めて会合を開いた部屋が再現された One Rotary Center の1階にある当時のポール・ハリスの事務所前には、ポール・ハリスの銅像が出迎えてくれている様に立っていました。

2日半のGPSでは、E/MGAとして今後どのように活動していくのか、いかなければならないのかを学びましたが、大きく以下の3つのことを学びました。

その一つはチームワークの大切さです。恒久基金/大口寄付の寄付者に限らず、財団への寄付への理解、促進するためには担当する地域、地区のRMC、RRFC、EPNC、RPIC、地区ガバナー、地区財団委員長、恒久基金/大口寄付小委員会委員長などとの連携が必要であり、また、前任者や他地域の関係者との連携も大事であることを学びました。二つ目としてはエンドポリオ、恒久基金/大口寄付への理解促進のためにはストーリーが大切であるということです。自分の経験から自分の言葉で伝えることの大切さを学びました。そして3つ目はロータリーが提供しているツールを十分に利用することです。E/MGAとして閲覧権限を与えられるデータについても関係者と情報を共有しつつ、寄付者へのアプローチに繋がられるように検討していきたいと考えています。

また、GPS全体として感じたことは、主催している側も参加している側も、みんながフレンドリーで自由に発言でき、共感する雰囲気が出来上がっていたことです。そのお陰で、自分なりに各セッションの討議において積極的な発言ができたと思います。

このセミナーで学んだことを活かし、3年間の責務を全うできるように務めたいと考えていますので、どうぞ皆様のご指導ご鞭撻、そして何よりも大口寄付へのご協力をお願いいたします。





私たちの生き方のエンブレム

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 神野 正博（七尾 RC）

去る7月13日(日)に、毎年恒例の3地域合同公共イメージ向上セミナーを実施し、100人以上の各地区のリーダーに参加いただきました。信頼の証としてのエンブレム、すべてのロータリー活動が公共イメージ向上につながることを、そして広報と公共イメージ向上の違いなどのお話と、公共イメージを向上する5つの事例の発表をいただきました。終了後のアンケートで、全体としては高評価であったものの、フリーコメントで、「地区の活動の参考になるように事例を多くしてほしい」旨の内容が多く、今後の参考にしていきたいと思えます。

このセミナーを踏まえ、公共イメージ向上を一言で言えないか考えて見ました。ロータリー会員の皆様は、ロータリーにどんな人がいて、そして、成りたいロータリー会員像をイメージできるはずです。しかし、一般の人々はもちろん、これからロータリークラブに入会しようとする人々にそれが伝わっているのでしょうか。そして、ロータリーのエンブレムを見たときに人々は何をイメージできるのでしょうか。人々は、ロータリーを世界で、日本で、地域でよいことをしている組織と認識してくれているのでしょうか。ポリオ根絶を目指す、平和を構築する、DEIを大切にする、環境問題を考える、貧困問題を考える、青少年をエンカレッジしている、海外からの留学生を支援している、リーダーシップを涵養しているなど、の組織と認識してくれているのでしょうか。ロータリーのエンブレムを見たときに、信用・信頼という言葉が出てくるのでしょうか。

もし、そうではないのなら、それを作り出すための奉仕と公共イメージ向上戦略が必要になるに違いありません。なぜならば、私たちはロータリー会員として、この組織に所属している意義と誇りを持ちたいからなのです。

そういった意味で、私たちが創り出さねばいけないのは、ロータリーのエンブレム＝信頼の証なのではないでしょうか。あのエンブレムのラベルボタン、旗を見たら「信頼に足りる人たちだ。」と認識されるために、私たちはイメージを向上させる取り組みを人に見せ、一人一人が仕事で、日常で、そして奉仕で実践すべきなのです。まさに私たちの生き方、そのものになるのかもしれませんが。



第3地域 ロータリー会員増強コーディネーター 中川 基成（あすか RC）

これをお読みのシニアロータリー会員の皆様が、あらためてロータリーのことをあまり知らない方々にロータリーへの入会を勧誘される場合どのようなお話をされるでしょうか？ また、入会したもののロータリーに馴染まず退会を検討される方々には、どのような話をされるでしょうか？ どちらも特別な個人事情もありますので、簡単な話ではないと思います。ましてや、ロータリーに対して誤解や思い込みなどがありますと、それを解いて正しく理解していただくのに苦労します。

その際に、最も大事にしたい基本的考え方は、つまるところ Enjoy Rotary ではないかと思ひます。では、ロータリーを楽しむとは具体的にどういうことでしょうか？

私は、ロータリーを学び、行動し、発信することを下の循環図のようにロータリー活動の中にとどまらず、それぞれの職場や家庭や生活の中で回していくことであり、ロータリーを楽しみつつロータリーの中核的価値(Core Values)が増大していくことと考えます。(この Core Valuesこそ正しく理解する必要があるのですが、ここでは紙面の関係上、私の解釈は省きます。)

ロータリーを通じて人としての生き方を学び、様々な奉仕を通じて地域社会や世界の平和に貢献して、ロータリーの価値に共感する仲間を増やしてロータリーの奉仕の輪を広げていくことができればロータリー活動は何と楽しいことでしょうか。



もう一つ、ロータリーを語るうえで大事にしたいことは、ロータリーのビジョン声明をよく味わい、その重要性を理解することだと思います。

Vision Statement:

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change—across the globe, in our communities, and in ourselves.

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」

今年の会長メッセージ “Unite for Good” はこのビジョンの核心を端的に言い表したものです。

自分自身や自分の所属するクラブや会社・組織の中で良い変化を生み出すことに取り組むことで、より魅力あるロータリーを体現できるならば、それに共感する人々に対して、ロータリークラブへの入会勧誘や退会防止にも説得力を持って効果が期待できるのではないのでしょうか。

いずれもロータリーを語るうえで、きわめてシンプルで基本的なことですが、改めてその重要性を再認識したいものです。

出席報告（7 月末日現在）・ My Rotary 登録率

クラブ名	年度初（女性）	当月初（女性）	新会員（女性）	退会数（女性）	月末数（女性）	純増減（女性）
43	2001(176)	2001(176)	28 (3)	14(1)	2015(178)	14(2)
	自クラブ出席率		当月出席率（メイク含む）		MyRotary 登録率 （8 月 21 日現在）	
	69.1%		75.2%		78.22%	

※純増減は年度初の会員数との対比となります。

クラブ名		回数	自クラブ 出席率	会員数（純増減は年度初数との対比となります）										メイ ク	出席率	MyRotary 登録率 (8月21日現在)		
				年度初 (女性)		当月初 (女性)		新会員 (女性)		退会数 (女性)		月末数 (女性)					純増減 (女性)	
第1分区	前橋	5	69.85%	117	(11)	117	(11)	3	(1)	3	(0)	117	(12)	0	(1)	4	70.38%	88.03%
	前橋西	4	63.81%	56	(5)	56	(5)	0	(0)	0	(0)	56	(5)	0	(0)	10	68.73%	85.71%
	前橋東	3	58.89%	50	(4)	50	(4)	0	(0)	0	(0)	50	(4)	0	(0)	10	66.06%	80.00%
	前橋北	3	79.33%	79	(1)	79	(1)	0	(0)	0	(0)	79	(1)	0	(0)	0	79.33%	87.34%
	前橋南	4	55.80%	56	(5)	56	(5)	0	(0)	0	(0)	56	(5)	0	(0)	1	56.25%	82.14%
	前橋中央	4	78.89%	23	(5)	23	(5)	1	(0)	0	(0)	24	(5)	1	(0)	7	86.19%	80.00%
	合計		67.76%	381	(31)	381	(31)	4	(1)	3	(0)	382	(32)	1	(1)		71.16%	83.87%
第2分区A	桐生	2	64.44%	71	(12)	71	(12)	0	(0)	2	(0)	69	(12)	-2	(0)	12	73.94%	90.00%
	桐生南	4	71.46%	37	(4)	37	(4)	0	(0)	0	(0)	37	(4)	0	(0)	7	76.44%	67.57%
	桐生西	4	76.93%	49	(11)	49	(11)	1	(0)	2	(1)	48	(10)	-1	-(1)	17	86.07%	95.83%
	桐生赤城	4	76.03%	39	(7)	39	(7)	1	(0)	0	(0)	40	(7)	1	(0)	14	85.14%	75.00%
	合計		72.21%	196	(34)	196	(34)	2	(0)	4	(1)	194	(33)	-2	-(1)		80.40%	82.10%
第2分区B	伊勢崎	4	85.22%	79	(5)	79	(5)	2	(0)	0	(0)	81	(5)	2	(0)	12	89.01%	96.34%
	群馬境	5	86.32%	23	(2)	23	(2)	0	(0)	0	(0)	23	(2)	0	(0)	0	86.32%	52.17%
	伊勢崎中央	4	76.74%	88	(9)	88	(9)	7	(0)	2	(0)	93	(9)	5	(0)	5	78.55%	84.09%
	伊勢崎南	4	77.00%	25	(2)	25	(2)	0	(0)	0	(0)	25	(2)	0	(0)	3	80.00%	100.00%
	伊勢崎東	3	65.71%	34	(2)	34	(2)	2	(0)	0	(0)	36	(2)	2	(0)	0	65.71%	97.22%
	合計		78.20%	249	(20)	249	(20)	11	(0)	2	(0)	258	(20)	9	(0)		79.92%	85.97%
第3分区	高崎	3	55.17%	138	(10)	138	(10)	4	(0)	1	(0)	141	(10)	3	(0)	2	56.12%	51.06%
	高崎南	4	54.54%	66	(10)	66	(10)	0	(0)	1	(0)	65	(10)	-1	(0)	3	56.06%	49.23%
	高崎北	3	52.44%	77	(0)	77	(0)	0	(0)	1	(0)	76	(0)	-1	(0)	26	64.00%	64.00%
	高崎東	5	66.40%	26	(3)	26	(3)	0	(0)	0	(0)	26	(3)	0	(0)	10	74.44%	76.92%
	高崎シンフォニー	3	82.61%	45	(9)	45	(9)	1	(1)	0	(0)	46	(10)	1	(1)	9	89.13%	97.83%
	高崎セントラル	3	76.77%	33	(0)	33	(0)	0	(0)	0	(0)	33	(0)	0	(0)	8	84.85%	60.61%
	合計		64.66%	385	(32)	385	(32)	5	(1)	3	(0)	387	(33)	2	(1)		70.77%	66.61%

クラブ名		回数	自クラブ 出席率	会員数（純増減は年度初数との対比となります）								メイ ク	出席率	MyRotary 登録率 (8月21日現在)				
				年度初 (女性)		当月初 (女性)		新会員 (女性)		退会数 (女性)					月末数 (女性)		純増減 (女性)	
第4分区A	太田	4	63.20%	70	(3)	70	(3)	0	(0)	0	(0)	70	(3)	0	(0)	1	63.56%	100.00%
	太田西	3	90.90%	11	(1)	11	(1)	0	(0)	0	(0)	11	(1)	0	(0)	4	100.00%	63.64%
	太田南	3	65.97%	47	(4)	47	(4)	1	(1)	0	(0)	48	(5)	1	(1)	1	66.67%	100.00%
	新田	3	60.32%	21	(3)	21	(3)	0	(0)	0	(0)	21	(3)	0	(0)	8	69.84%	42.86%
	太田中央	4	57.07%	46	(5)	46	(5)	0	(0)	0	(0)	46	(5)	0	(0)	1	57.61%	84.78%
	合計		67.49%	195	(16)	195	(16)	1	(1)	0	(0)	196	(17)	1	(1)		71.54%	78.26%
第4分区B	館林	3	68.37%	55	(4)	55	(4)	0	(0)	0	(0)	55	(4)	0	(0)	15	77.87%	87.27%
	大泉	3	66.61%	25	(3)	25	(3)	0	(0)	0	(0)	25	(3)	0	(0)	5	74.82%	24.00%
	館林東	2	83.33%	6	(1)	6	(1)	1	(0)	0	(0)	7	(1)	1	(0)	2	100.00%	57.14%
	館林ミレニアム	2	69.34%	27	(1)	27	(1)	0	(0)	0	(0)	27	(1)	0	(0)	5	82.23%	100.00%
	合計		71.91%	113	(9)	113	(9)	1	(0)	0	(0)	114	(9)	1	(0)		83.73%	67.10%
第5分区	渋川	4	74.12%	58	(5)	58	(5)	1	(0)	0	(0)	59	(5)	1	(0)	37	91.30%	74.58%
	沼田	4	56.60%	73	(3)	73	(3)	2	(0)	0	(0)	75	(3)	2	(0)	1	57.24%	98.67%
	中之条	4	91.07%	16	(0)	16	(0)	0	(0)	0	(0)	16	(0)	0	(0)	0	91.07%	56.25%
	沼田中央	5	62.19%	49	(4)	49	(4)	0	(0)	0	(0)	49	(4)	0	(0)	33	76.75%	100.00%
	渋川みどり	4	56.51%	48	(6)	48	(6)	0	(0)	2	(0)	46	(6)	-2	(0)	3	57.99%	89.58%
	合計		68.10%	244	(18)	244	(18)	3	(0)	2	(0)	245	(18)	1	(0)		74.87%	83.82%
第6分区	富岡	4	77.85%	41	(3)	41	(3)	0	(0)	0	(0)	41	(3)	0	(0)	5	81.54%	58.54%
	藤岡	3	76.19%	43	(3)	43	(3)	0	(0)	0	(0)	43	(3)	0	(0)	4	79.37%	76.74%
	安中	3	43.44%	56	(3)	56	(3)	0	(0)	0	(0)	56	(3)	0	(0)	12	50.58%	54.39%
	藤岡北	2	64.28%	7	(1)	7	(1)	0	(0)	0	(0)	7	(1)	0	(0)	0	64.28%	57.14%
	富岡中央	4	76.70%	37	(3)	37	(3)	0	(0)	0	(0)	37	(3)	0	(0)	2	78.17%	78.38%
	碓氷安中	2	50.00%	7	(0)	7	(0)	0	(0)	0	(0)	7	(0)	0	(0)	1	57.14%	71.43%
	藤岡南	2	50.00%	18	(0)	18	(0)	0	(0)	0	(0)	18	(0)	0	(0)	6	71.43%	66.67%
	富岡かぶら	4	59.17%	29	(3)	29	(3)	1	(0)	0	(0)	30	(3)	1	(0)	11	69.17%	53.33%
	合計		62.20%	238	(16)	238	(16)	1	(0)	0	(0)	239	(16)	1	(0)		68.96%	64.58%

新会員紹介



氏 名 **結城 崇彰**
 クラ ブ 前橋
 入 会 日 2025 年 8 月 19 日
 職業分類 生命保険
 勤 務 先 住友生命保険(相)
 役 職 群馬支社長
 推 薦 者 板垣 忍



氏 名 **小谷野 翔馬**
 クラ ブ 前橋中央
 入 会 日 2025 年 7 月 23 日
 職業分類 電気工事
 勤 務 先 株式会社小谷野電気
 役 職 取締役営業部長
 推 薦 者 渋澤優一郎



氏 名 **松原 豊**
 クラ ブ 桐生西
 入 会 日 2025 年 7 月 18 日
 職業分類 産業廃棄物処理、環境分析
 勤 務 先 日重環境株式会社
 役 職 代表取締役会長
 推 薦 者 花房孝道・下井田秀一彦



氏 名 **古池 一光**
 クラ ブ 伊勢崎
 入 会 日 2025 年 7 月 2 日
 職業分類 弁当総菜製造販売
 勤 務 先 合同会社 KOIKE
 役 職 代表社員
 推 薦 者 大和 勲・宮澤秀利



氏 名 **松村 強志**
 クラ ブ 伊勢崎
 入 会 日 2025 年 7 月 2 日
 職業分類 足場土木工事
 勤 務 先 (株)松村組
 役 職 代表取締役
 推 薦 者 大和 勲・宮澤秀利



氏 名 **柿沼 二三浩**
 クラ ブ 伊勢崎
 入 会 日 2025 年 8 月 6 日
 職業分類 生命保険
 勤 務 先 プルデンシャル生命保険(株)
 役 職 シニアコンサルティングプランナー
 推 薦 者 大和 勲・松村強志



氏 名 **木暮 修**
 クラ ブ 伊勢崎中央
 入 会 日 2025 年 7 月 2 日
 職業分類 商工会議所
 勤 務 先 伊勢崎商工会議所
 役 職 専務理事
 推 薦 者 上柿敬一



氏 名 **高木 亨**
 クラ ブ 伊勢崎中央
 入 会 日 2025 年 7 月 31 日
 職業分類 レストラン業
 勤 務 先 株式会社 いちもん
 役 職 総務経理部長
 推 薦 者 大竹昌樹・上柿敬一



氏 名 **八木 孝之**
 クラ ブ 伊勢崎中央
 入 会 日 2025 年 7 月 31 日
 職業分類 不動産管理業
 勤 務 先 株式会社 YG トラスト
 役 職 代表取締役
 推 薦 者 上柿敬一・六本木裕



氏 名 **山崎 貴史**
 クラ ブ 伊勢崎中央
 入 会 日 2025 年 7 月 31 日
 職業分類 広告制作
 勤 務 先 株式会社 ワイズサイン
 役 職 代表取締役社長
 推 薦 者 栗原智久・久保文孝



氏 名 **湯浅 篤**
 ク ラ ブ 伊勢崎中央
 入 会 日 2025 年 7 月 31 日
 職業分類 土地家屋調査士
 勤 務 先 湯浅土地家屋調査士事務所
 役 職
 推 薦 者 泉 哲雄・高橋大之



氏 名 **渡辺 昌久**
 ク ラ ブ 伊勢崎中央
 入 会 日 2025 年 7 月 31 日
 職業分類 遊技機保管・管理
 勤 務 先 株式会社 昌永
 役 職 代表取締役
 推 薦 者 六本木裕・上柿敬一



氏 名 **栗原 弘充**
 ク ラ ブ 伊勢崎中央
 入 会 日 2025 年 7 月 31 日
 職業分類 青果卸
 勤 務 先 マルクリ青果株式会社
 役 職 専務取締役
 推 薦 者 長谷川修志・松永文彦



氏 名 **小野里 育三**
 ク ラ ブ 伊勢崎東
 入 会 日 2025 年 7 月 6 日
 職業分類 金融業
 勤 務 先 あかぎ信用組合
 役 職 支店長
 推 薦 者 大木孝之



氏 名 **高橋 良宗**
 ク ラ ブ 高崎
 入 会 日 2025 年 7 月 28 日
 職業分類 建設解体業
 勤 務 先 株式会社上原産業
 役 職 代表取締役
 推 薦 者 大橋秀光・岸義将



氏 名 **伊藤 美帆**
 ク ラ ブ 高崎シンフォニー
 入 会 日 2025 年 7 月 4 日
 職業分類 介護事業
 勤 務 先 (株)創新成
 役 職 代表取締役
 推 薦 者 木村 めぐみ



氏 名 **木村 江津子**
 ク ラ ブ 太田中央
 入 会 日 2025 年 8 月 1 日
 職業分類 生命保険
 勤 務 先 明治安田生命保険相互会社
 太田支社 西太田営業所
 役 職 支部マネージャー
 推 薦 者 岡田秀一



氏 名 **新井 律子**
 ク ラ ブ 館林
 入 会 日 2025 年 6 月 26 日
 職業分類 飲食業
 勤 務 先 ナイトサパープライベート
 役 職 代表
 推 薦 者 小池敏郎・関井宏一

新会員入会実績報告（7月末日現在）

クラブ名	年度初	新会員 入会目標	新会員 入会実績	達成率	目標残
43	2001	158	26	17%	132

クラブ名		年度初	入会 目標	入会 実績	目標残	達成率
第1分 区	前橋	117	8	3	5	37.5%
	前橋西	56	2	0	2	0.0%
	前橋東	50	5	0	5	0.0%
	前橋北	79	4	0	4	0.0%
	前橋南	56	7	0	7	0.0%
	前橋中央	23	2	1	1	50.0%
	合計	381	28	4	24	14.3%
第2分 区A	桐生	71	5	0	5	0.0%
	桐生南	37	2	0	2	0.0%
	桐生西	49	6	1	5	16.7%
	桐生赤城	39	2	1	1	50.0%
	合計	196	15	2	13	13.3%
第2分 区B	伊勢崎	79	7	2	5	28.6%
	群馬境	23	3	0	3	0.0%
	伊勢崎中央	88	5	7	-2	140.0%
	伊勢崎南	25	3	0	3	0.0%
	伊勢崎東	34	6	2	4	33.3%
	合計	249	24	11	13	45.8%
第3分 区	高崎	138	10	4	6	40.0%
	高崎南	66	3	0	3	0.0%
	高崎北	77	3	0	3	0.0%
	高崎東	26	5	0	5	0.0%
	高崎シンフォニー	45	3	1	2	33.3%
	高崎セントラル	33	2	0	2	0.0%
	合計	385	26	5	21	19.2%

クラブ名		年度初	入会 目標	入会 実績	目標残	達成率
第4分区分A	太田	70	5	0	5	0.0%
	太田西	11	2	0	2	0.0%
	太田南	47	2	1	1	50.0%
	新田	21	3	0	3	0.0%
	太田中央	46	3	0	3	0.0%
	合計	195	15	1	14	6.7%
第4分区分B	館林	55	5	0	5	0.0%
	大泉	25	4	0	4	0.0%
	館林東	6	8	0	8	0.0%
	館林ミレニアム	27	3	0	3	0.0%
	合計	113	20	0	20	0.0%
第5分区分	渋川	58	3	1	2	33.3%
	沼田	73	2	2	0	100.0%
	中之条	16	1	0	1	0.0%
	沼田中央	49	6	0	6	0.0%
	渋川みどり	48	2	0	2	0.0%
	合計	244	14	3	11	21.4%
第6分区分	富岡	41	3	0	3	0.0%
	藤岡	43	2	0	2	0.0%
	安中	56	2	0	2	0.0%
	藤岡北	7	1	0	1	0.0%
	富岡中央	37	2	0	2	0.0%
	碓氷安中	7	2	0	2	0.0%
	藤岡南	18	2	0	2	0.0%
	富岡かぶら	29	2	0	2	0.0%
	合計	238	16	0	16	0.0%

*上記の数値は新会員入会者のみの目標および実績を表記しております。退会者数はカウントしておりません。
よって各クラブの現在の会員数を示すものではありません。

国際ロータリー第2840地区
三好建正ガバナーエレクト事務所 開設のご挨拶

2840 地区内ロータリアンの皆様

9月1日より下記の通り「三好建正ガバナーエレクト
事務所」を開設いたしましたのでご案内させていただきます。

今後とも、2840 地区活動へのご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



2026～2027年度 国際ロータリー第2840地区
三好建正ガバナーエレクト事務所

所在地： 〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2

前橋問屋センター会館 1F

TEL : 027-212-2840

FAX : 027-212-2841

E-mail : miyoshi@rid2840.jp

開所時間：午前9時30分～午後5時（土・日・祝日は休み）

事務局員 入山 こず江・佐藤 由紀恵

※当事務所は竹中 隆ガバナ－事務所に併設となります。



ガバナーより一言

7月に新年度を迎え、ガバナーとしての最初の行事が“ インターアクト年次大会 ”でした。大会テーマを『あたりまえをみなおす!』とし、講師に群馬大学の金井教授をお迎えして、防災を切り口に基調講演をいただきました。詳しくは、10月のガバナー月信で報告されます。

講演では、小学校の避難訓練で地震を想定したとき、

- ・全校放送で「地震が発生しました。生徒は机の下に隠れましょう。」
- ・次に、「安全を確認し、走らず校庭に避難しましょう。」

私たち子供の頃から刷り込まれた避難訓練の手順です。

今の子供たちも、その指示が刷り込まれていて、どのような状況（授業中でなく、掃除で皆がばらばらの場所にいるときも）、ほとんどの生徒は離れた机まで行って、机の下に隠れることが、動画で検証されました。

金井教授は、大規模な地震の時、固定されていない机の下が本当に安全なのか。近くに机の無い時であれば、その場で動かず、まず、頭を守ることの方が効果的に安全を確保できるのではないかと指摘されました。

地震の避難訓練を題材に、幼いころから刷り込まれた行動パターンに少し疑問を持つこと、自分で考えること、状況に即した対応を取ることの重要性を示されました。

ロータリーの活動でも、「うちのクラブはこうやってきたから」、「地区のこの行事はこうゆうやりかたでやってきたから」みたいなところはありませんか？

7月、8月に、全国青少年交換委員長会議、全国地区ローターアクト委員長ならびに地区ローターアクト代表合同会議、全国インターアクト委員長会議が開催され、参加しました。前年度には、全国RYLA 研究会にも参加いたしました。青少年関係のプログラムでしたが、それぞれの地区の行事の事例や、地区委員会の運営、地区委員会とクラブとの連携の在り方などを吸収させていただきました。

“2840 地区では当たり前” のことが、当たり前でないことも気付かされました。地区の委員会からも参加されていたので、活動の参考にされることと思います。

例をあげると、RYLA は、ほとんどの地区で宿泊で行っており、多くは2泊以上であること。企画、運営は、ローターアクトが行っていることです。2840 地区では、日帰りで、委員長輩出クラブが企画、運営し、ローターアクトは参加者であります。

公式訪問が始まり、私も気付きをいただいています。

他のクラブにメイクアップすること、地区の事業に参加すること、地区委員として出向することなどにより、気付きを得て、ご自分のクラブの当たり前を見直してみたいかがでしょう。

RI 会長は、革新と継続性の必要性を訴えられています。

クラブから飛び出して、気付きを得て、クラブでは、何を大切にするのか?これからクラブをどうしていくのか?クラブの皆様で、是非、語り合ってください。

ガバナー月信の表紙について

司馬遼太郎氏の随筆に「21 世紀を生きる君たちへ」があります。次世代への呼びかけであります。少し長くなりますが、一部をご紹介します。

・・・助け合う、ということが、人間にとって、大きな道徳になっている。

助け合うという気持ちや行動の元は、いたわりという感情である。

他人の痛みを感じることも言ってもいい。

やさしさと言いかえてもいい。

「やさしさ」

「おもいやり」

「いたわり」

「他人の痛みを感じる」

みな似たような言葉である。

これらの言葉は、元々一つの根から出ている。

根といっても、本能ではない。だから、私たちは訓練をしてそれを身に付けねばならない。

その訓練とは、簡単なことだ。例えば、友達が転ぶ。ああ痛かったろうな、と感じる気持ちを、その都度自分で創り上げていきさえすればよい。

この根っこの感情が、自己の中でしっかり根づいていけば、他民族へのいたわりという気持ちも湧き出てくる。

君たちさえ、そういう自己を作っていけば、二十一世紀は人類が仲良しで暮らせる時代になるに違いない。

『二十一世紀に生きる君たちへ』司馬遼太郎／世界文化社／2001年

ロータリーでは、数年間ですが、DEI という考え方を推進しました。

多様性、公平さ、インクルージョン。改めて言われなくても、日本人の心の中には「思いやり」が根付いていました。しかしながら、どんな時も「思いやり」や「いたわり」の気持ちが自然に沸き起こるわけではありません。私自身、見てみないふりをしてしまった自分を後で恥じ入ることもあります。

困りごとのある方、サポートを必要としている方へ寄り添う気持ちを持つためには、誰が、何で困っていて、どのようなサポートを必要としているのか、少し意識し続けなくてはなりません。

今年度のガバナー月信の表紙で、群馬県で活動するハンディキャップのあるアーティストの活動や作品をご紹介します。あわせて、その方、その方の創作活動をサポートし続けている個人、団体もご紹介できればと考えています。

誰かが転んだ時に、痛かっただろうと気遣う気持ちを持つだけでなく、反射的に、駆け寄り、手を差し伸べられるような人でありたいと思います。

ロータリアンであれば、それぞれ専門の職業もお持ちです。

気遣う気持ちの次は、行動です。医療に携わっている方ならケガの心配、手当て。建設に携わっている方なら転んだ原因の分析、解消。移動に介助が必要な方へのサポート……などなど。

何より、痛かっただろうと思い、駆け寄り、手を差し伸べられる若者を一人でも多く世の中に送り出すことが、私たち、ロータリアンの使命ではないでしょうか。

少し視野を広げて、世の中で起こっている様々な事象に目を向けましょう。

ロータリアン同士で手を取りあうことはもちろんですが、ロータリアン以外にもパートナーシップを拡大し、地域社会にインパクトをもたらす活動を続けてまいりましょう。

表紙説明

タイトル：記憶 《小柏龍太郎》

・作品解説

深い色の背景に、鮮やかな緑や赤、黄色が勢いよく散り、画面いっぱいに広がっています。弾むような絵具の軌跡からは、高揚感や力強さが伝わってきます。

リズムや動きとともに絵具を「トバス」ことで生まれる表現は、偶然と必然が重なり合い、思いがけない表情を見せています。観る人それぞれに過去の感覚や体験を呼び起こすような一枚です。

作家：小柏龍太郎

工房あかねのはじまりの作家 小柏龍太郎が 1999 年より画家前島芳隆の絵画教室に通い始めるようになり、芸術活動を開始。二人は共同制作グループ「リュウ 2」を結成する。「リュウ 2」のコンセプトは、創造的な関わりの中で、互いに楽しく、個を越えて創造する喜びを感じる。二人の活動の代名詞は「トバシ」である。鉄骨で組まれた小屋の中に大きなキャンバスを置き、サックスやギター等で前衛的な音楽がかき鳴らされる中、龍太郎自身も時に太鼓を叩きつつ、コップに入った色とりどりのアクリル絵の具をキャンバスへと「トバス」。普段の物静かな龍太郎からは想像できない、狂気すら感じる変貌ぶりである。自由奔放でリズムカルな筆使いで絵の具と戯れ、自分を解放し、エネルギーに制作している。

高崎市本町にある NPO 法人工房あかねが運営する障害福祉事業所「アトリエ ART・ON」では、利用者が自由に自己表現を楽しみながら創作活動に取り組んでいます。絵画や工作、刺繍など、スタッフと共に多彩な制作を行い、その成果は展示会への出展やアートグッズとしての展開など、さまざまな形で発信されています。



文庫通信 393号:ポリオ

- 「記事抜粋「私の履歴書(第18回)」国際政治(ポリオ)」 尾身茂(結核予防会理事長)/日経新聞 2025.3.29/1P
- 「ポリオ根絶への道 --これまで、これから--」 尾身茂(結核予防会理事長)/(D.2760地区研修協議会)/2025/8P
- 「ポリオとロータリーと私」 関場慶博/(D.2580地区大会)/2022/8P
- 「ロータリー活動から幸せを」 松本祐二/(D.2580地区大会)/2022/14P
- 「パキスタンでの予防接種活動(「世界でよいことをしよう」財団ワークショップより)」
高柳育行/(D.2510地区大会)/2023/3P
- 「エンドポリオサイクリングチャレンジについて」 宮崎陽市郎/(D.2580地区大会)/2023/4P
- 「ロータリー研究会資料 第4セッション(世界ポリオデーイベント事例)」 ロータリー研究会/2024/64P

※参考訳はRI非公式であり、私的翻訳またはAI翻訳のため正確ではないこともございます。あくまで参考として「公式英文書」ご理解の一助としてご活用ください。なお、該当PDFファイルの末尾(-2.pdf)が参考訳です。

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森谷ビル別館6階
TEL:03(3433)6456、FAX:03(3459)7506

ガバナー事務所よりお願い

■ガバナー月信に関して

- ・ 原稿の締め切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付し竹中隆ガバナー事務所（takenaka@rid2840.jp）まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
- ・ 新会員情報並びに訃報の締め切りは、毎月 15 日です。（15 日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。）新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。
なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。

■ガバナー事務所に関して

- ・ ガバナー事務所の開所時間は従前どおり午前 10 時から午後 5 時となっておりますのでよろしくお願いいたします。尚、原則として正午から午後 1 時までは昼休みとなっております。

■月信への寄稿のお願い

- ・ 毎月 1 日に発刊しているガバナー月信ですが、是非とも第 2840 地区の各クラブで行われた奉仕事業やクラブの自慢などを、月信に寄稿してみませんか？
原稿締め切りは毎月 15 日になります。原稿を 15 日以前にガバナー事務所宛にメールしていただければ翌月号に掲載させていただきます



竹中 隆 ガバナー事務所

〒 371-0855 群馬県前橋市問屋町 2-2 前橋問屋センター会館 1F
TEL: 027-212-2840 FAX: 027-212-2841